

花むすび物語 HANAMUSUBI story.1

大好きだったおばあちゃんへ。
子どもの頃を思い出して、
クローバーのプレゼント。

大好きだったおばあちゃんとの最後のお別れのとき。
さっきまで庭で遊んでいた甥っ子たちも集まってきた。
父は涙を見られたくないのか、縁側から空を見上げたままだ。
わたしは子どもの頃を思い出してつくったクローバーの
ティアラを棺のおばあちゃんにそっと飾ってあげる。
泣きながらそれでも笑顔で「ありがとう」と言うと、
おばあちゃんの顔が少しほころんで見えた。



人と人を結び、
人生という物語を結ぶ

木漏れ日さすりビング

明るい日差しが心地いいリビングの真ん中に棺を置いて皆で囲む。花むすびならではの光景です。ぬくもりを感じる近い距離で送ることができます。



花と草木がいっぱいの中庭

花むすびの中庭にはひとつずつ意味を込めた、多くの草木が植えられています。タラヨウの木もその一つ。別名・手紙の木と呼ばれるこの木の葉にメッセージを書いて棺に添えてあげてはいかがでしょうか。

憩いのオープンテラス

リビングと中庭を繋ぐオープンテラスは憩いの場。庭を眺めたりお茶をしたり、時には語り合ったり。自宅でくつろぐように自由にお過ごし下さい。



Life is beautiful.

「人生」という物語の

むすびにはいろんなカタチが

あつてらうと思う。

大切な人が亡くなった時 あなたは

どんな風にその人を送ってあげたいですか

思い切り泣きますか それとも笑って送りますか

近しい人と一晩中語り明かして

思い出の歌で送ってあげますか

人生という物語のエンディングシーンに

決まったカタチなんてないと思う

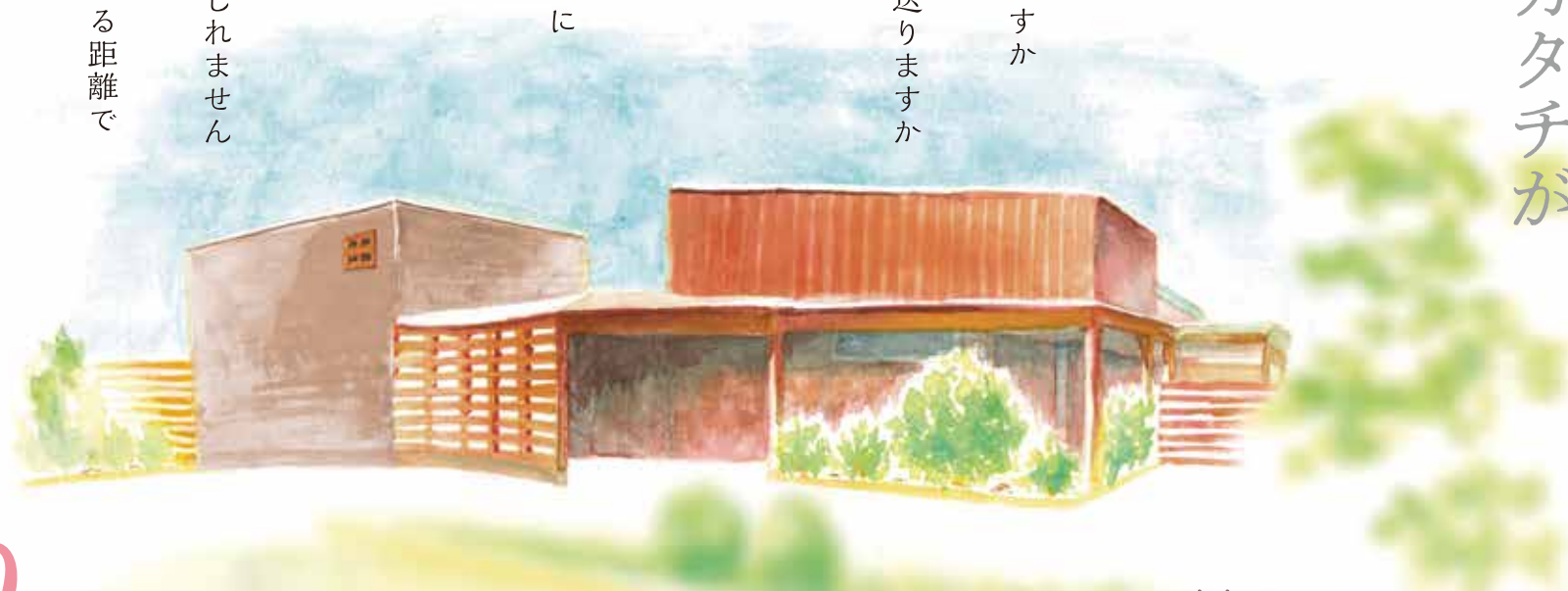
そこにあるのは悲しみだけじゃなく

喜びや楽しさ 出会いだってあるかもしれません

旅立つ人と送り出す人が温もりを感じる距離で

自由に慈しみの時を過ごす場所

「花むすび」がこの春はじまります



花 む す び

hanamusubi

<https://hana-musubi.net/>

2018.4 月中旬 OPEN

新潟市西蒲区巻字新道甲4026番地1 ☎0256-88-2048(花久葬祭)